

# 自立活動の本質に迫る個別の指導計画の在り方Ⅱ

小中学校への展開を踏まえた手続きの提案

企画・司会	内海友加利・池田彩乃・安藤隆男	(兵庫教育大学・山形大学)
話題提供 1	有井香織	(筑波大学附属桐が丘特別支援学校)
話題提供 2	植田佐知子	(静岡市立長田東小学校・前静岡県立吉田特別支援学校)
話題提供 3	大川木綿子	(千葉県立野田特別支援学校)
指定討論	三嶋和也	(千葉県立船橋夏見特別支援学校)
	藤井和子	(上越教育大学)

KEY WORDS: 自立活動 個別の指導計画 小中学校への展開

## 【企画趣旨】

特別支援学校において、個別の指導計画は対象となる児童生徒（以下、児童ら）の学級担任を中心として、複数教師の協議により作成されてきた。複数教師が協働し、個別の指導計画を作成することは、個人の予断・独断を排除するとともに、作成者個人の心理的な負担感、不安感を低減させることが期待できることから、多くの実践を積み重ねてきた。

複数教師による個別の指導計画作成の方法の1つとして、対象となる児童らに関する分有情報（安藤，2001）を収集、収束する過程において中心課題（長田，2008）を抽出していく方法がある。この方法は、個人の全体像を視覚的に把握するための方法として有効と考えられており（長田，2008）、肢体不自由特別支援学校を中心に実施されている（例えば八柳，2019）。具体的には、対象児童らの実態に関わる情報を付箋に書き出し、付箋同士のまとまり（表札）を作成し、まとまりごとの関係性を整理するという手順を経て「実態把握図（安藤，2001）」を作成する。対象児童らに関わることになる複数教師による共通理解が個別の指導計画の作成を通してはかれることになる。「実態把握図」を作成する上記の手続きが、児童らの実態を多様な観点から見取り、指導につなげるための方法として有効である一方で、作成にかかる時間的・精神的な負担感や抵抗感、手続きの難しさに伴う不安感等、様々な課題が指摘されている。

「自立活動の本質に迫る個別の指導計画の在り方Ⅰ-今後の特別支援教育における個別の指導計画の意義-」において提案したように、今後個別の指導計画の作成やそれらに基づいた自立活動の指導は、小中学校等においても展開されることになる。その際に、特別支援学校はこれまでの取り組みにおいて指摘されてきた諸課題を踏まえ、小学校等において導入可能な体制整備や新たな手続きについて提起することが求められている。

そこで、本自主シンポジウムにおいては、これまでに指摘されてきた課題を踏まえ提案された新たな手続きである「個別の指導計画作成システム（安藤ら，2020）」を参考に取り組みされた様々な実践の成果や課題を提案し、その在り方を検討する。事例は特別支援学校における実践を含むが、今後小中学校等への展開を見据えて実践されたものである。

## 【話題提供の要旨】

### 話題提供 1：様式や校内体制の整備

個別の指導計画の様式は、各学校等の実情に応じて創意工夫することが求められている。校内で複数教師が協働し共通理解を図りながら個別の指導計画作成を効果的に進めていくためには、様式の十分な検討、見直しが重要となる。様式を見直すとともに、校内での共通理解を高めるためにどのような工夫が考えられるかについて、事例に基づき提案する。

### 話題提供 2：ファシリテーターの役割

複数教師による協議を経て作成される個別の指導計画においては、話し合いの際のファシリテーターの重要性が指摘されている。限られた時間の中で、参加する教師全員が主体性を持って議論に参加できるように話し合いをコントロールする等の役割が求められる。ここでは、学習指導要領において新たに整理された個別の指導計画作成の手続きを踏まえ、ファシリテーターを中心に複数教師の共通理解を図りながら個別の指導計画を作成した事例を通して、ファシリテーターが担うべき役割や必要な力量等について提案する。

### 話題提供 3：「個別の指導計画作成システム」の通級による指導への展開

特別支援学校のセンター的機能の一環として実施している通級による指導において、「個別の指導計画作成システム」を取り入れた実践を行った。特別支援学校の教師が小中学校等においてファシリテーターの役割を果たしながら、関係教師の協働により取り組まれた「個別の指導計画作成システム」に基づく実践について紹介し、今後の小中学校等での展開を見据えた成果や課題について提案する。

## 【指定討論の要旨】

小中学校等での個別の指導計画の作成やそれらに基づいた自立活動の指導の展開を踏まえ、センター的機能の一環として、特別支援学校に求められることについて、自身の経験を踏まえて議論を深める。

各学校の実践を踏まえ、今後の個別の指導計画作成や自立活動に関わる小中学校等への展開への期待と要望について議論を深める。

## 主要文献

安藤隆男（2001）個別の指導計画作成の目的論．安藤隆男（編）自立活動における個別の指導計画の理念と実践．川島書店，73-84．

八柳千穂（2019）カード整理法を活用した実態把握．北川貴章・安藤隆男（編著）「自立活動の指導」のデザインと展開 悩みを成長につなげる実践 32．ジアース教育新社，42-45．

長田実（2008）「個別の指導計画」の作成と実践．筑波大学附属桐が丘特別支援学校（編）肢体不自由教育の理念と実践．ジアース教育新社．97-104．

（付記）本シンポジウムは、JSPS 科研費 19K23288 の助成を受けて取り組む研究に関連したものです。

(UTSUMI Yukari, IKEDA Ayano, ANDO Takao, ARII Kaori, UEDA Sachiko, OKAWA Yuko, MISHIMA Kazuya, FUJII Kazuko)